

2024年

9月7日(土) 10月16日(水)



ギャラリー展 オットー・ハプスブルク その生涯と遺産

第二次世界大戦後の日本と欧米諸国との国際関係促進に貢献した往年の皇位後継者オットー・ハプスブルク（1912～2011）。国際政治のキャリアや功績にも焦点を当てながら、その生涯と遺産を紹介します。

【開催日時】 2024年9月7日（土）～10月16日（水）

【会場】 港区立郷土歴史館 4階ギャラリー

【共催】 駐日ハンガリー大使館
リスト・ハンガリー文化センター
港区立郷土歴史館

【観覧料】 無料



オットー・ハプスブルク（1912～2011）

ハプスブルク家が、第一次世界大戦までの時代にオーストリア＝ハンガリー帝国のハンガリー王及びオーストリア皇帝として君臨した事は良く知られています。その最後のハンガリー王及びオーストリア皇帝の長子がオットー・ハプスブルク（1912～2011）でした。第一次世界大戦後、オットーが戴冠することはありませんでしたが、第二次世界大戦下では外交上のコネクションを使って、何千人もの迫害された人々を救済し、戦後はヨーロッパのために活動する国際的組織である汎ヨーロッパ連合の会長や、欧州議会の議員となりました。また、『鉄のカーテン』崩壊に重要な役割を果たした1989年の汎ヨーロッパ・ピクニックの後援者として、国際社会に多大な貢献をしました。そのオットー・ハプスブルクは、日本を何度も訪問し、皇室や政治的指導者、更には巨大企業の経営者とも強い関係を構築し、日本と欧米諸国との国際関係促進にも力を尽くしました。ギャラリー展では、日本との関係もご紹介します。

港区立郷土歴史館
ご利用案内



- 【アクセス】 ● 東京メトロ南北線・都営三田線 白金台駅 2番出口 徒歩1分
● 都営バス・東急バス 白金台駅前停留所 徒歩1分

※一般車両用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
※障害者用の駐車場がございます。

【住所】

〒108-0071東京都港区
白金台4-6-2 ゆかしの杜内

【電話】

03-6450-2107

【HP】

minato-rekishi.com

【開館時間】

午前9時～午後5時

（土曜日のみ午後8時まで）

【会期中休館日】

9月19日（木）

